

若者、附中

熊本大学教育学部附属中学校

学校だより

平成30年5月15日

第3号

《文責：高木》

体育大会直前……

体育大会を直前にひかえ各団ごとの練習はもうそろそろ、各クラスでの練習や、男子の果敢行動、女子のグニスの練習にも、より一層の盛り上がりが見られるようになってきました。今回の若者附中には、各団代表からのメッセージを紹介したいと思います。

体育大会に向けて

青龍団 團長 與總

皆さんこんにちは。今年の体育大会の夕練や全体練習は、とても大変で辛いと思います。そんな中でも、一度もあきらめることなく練習を続ける気持ちで大事です。その気持ちで忘れず残りの練習がんばっていきま

しょう。

さて、今年の青龍団の体育大会への意気込み、目指していることは「一年の部、二年の部、三年の部、総合の部のすべてで優勝を青龍団がとります」です。

そのためには、体力だけでなく頭脳も必要となってきます。ただ、今の青龍団なら横が結局式で言った「他の団よりもスピーディに動く」ことができているので心配することはないでしょう。目指せ勝利、がんばっていきましょう。

体育大会に向けて

黄龍団 團長 阿蘇品

みなさん、こんにちは。黄龍

団長の阿蘇品です。僕は、今年の体育大会を中学生生活最後にふさわしい最高のものにしてほしいと思います。体育大会優勝はもちろんです。目指しているのはもっと上の完全制覇です。

目標達成のために黄龍団の団員全員に守ってほしい三つの約束ごとを決めました。そして黄龍団のみならず結団式の時にどの団より速く集まり、三つの約束のうち一つをすぐに実践してくれました。そのことから、黄龍団には行動力があることがわかりました。そして一つ、

目標達成のために必要なものは団結です。僕だけでなく、三年生全員で、二年生を引っ張り、まともな練習をしています。

高い行動力と団結力を持って黄龍団は、体育大会に向けてがんばっていきます。

英雄とは

赤龍団 團長 入江

皆さん、長い練習、お疲れ様です。例年に比べて忙しく、きつく辛い練習だと思えますが、皆さんは悔いの残らぬ練習ができたでしょうか。

赤龍団のみならずには英雄になつてほしいと結団式のときに話したと思います。最初は、団として全く練習にやる気がなかったことを覚えていきます。しかし練習を重ねるうちに、やる気も技術も上がってきたと思います。赤龍団のみならず、本物の英雄まで後少し、後は、本番で全力を尽くすだけだと僕は思います。自分の事だけでなく、赤龍団の応援も全力で行って、全員が本物の英雄になりましょう。そして、優勝をつかみとり、三年ぶりに附中の大地を紅に染め上げましょう。

走り出せ

白虎団 團長 福井

皆さん、こんにちは。白虎団の福井です。突然ですが、皆さんは体育大会に何を求めて参加していますか。おそらく優勝などの結果、練習中の楽しさという過程など様々だとは思いますが、僕は、今回の体育大会で過程を大事にしてほしいと思います。

しかし、その過程をしっかり作り上げるには、一つだけ必要不可欠なものがあります。それは、最も基本的な事ですが、「気持ち」だと思います。どれだけの才能があっても、やる気と気持ちがあれば優勝はできません。さらに、クラス40人、団120人の気持が「優勝」という一つの大きな目標に向かって、一つになることで、団結にもつながります。残り短い期間ですが僕を信じてついて来て下さい。



※長い間、みなさまに迷惑をおかけしてしまいました体育館の改修工事もおついに終了です。体育大会当日のお弁当の時間にグラウンドオープンとなります。